

令和4年度  
発生予察情報

## 特殊報第1号

令和4年10月21日  
埼玉県病害虫防除所  
(TEL:048-539-0661)

### タバコノミハムシの発生について

県東部のナスほ場においてハムシ科甲虫による葉の食害が確認され、加害虫を同定の結果、タバコノミハムシであることが判明した。

\* 特殊報：新規の有害動植物を発見した場合及び重要な有害動植物の発生消長に特異な現象が認められた場合に発表するものです。

1 害虫名 タバコノミハムシ *Epitrix hirtipennis* (Melsheimer)

2 対象作物 ナス

3 発生経過

- (1) 令和4年9月下旬に、県東部のナスほ場において、食害された葉とともにハムシ科甲虫が20頭以上確認された。一部の個体を採取し横浜植物防疫所に同定を依頼したところ、タバコノミハムシであることが判明した。
- (2) 本種は北アメリカおよび中央アメリカに分布するとされるたばこの害虫である。国内では、平成23年に群馬県で初めて確認され、以降計25府県で発生が確認されている。

4 本種の特徴及び生態

- (1) 成虫はやや扁平な長楕円形で、体長は1.5～2.5mm。体色はやや光沢のある赤褐色で、上翅には不明瞭な黒斑がある。後腿節は顕著に肥大している(写真1)。
- (2) 卵は地表に産みつけられ、孵化した幼虫は地中で根を加害した後、地表部近くで蛹化する。成虫は落葉下などで越冬する。
- (3) 成虫は葉の片側の表皮を残して葉肉を食害したり、葉を貫通して食害したりする。直径1mm～2mm程度の多数の小さな円形の穴を空ける(写真2～4)。本種はナスを始め、トマト、ばれいしょ、ほおずき、雑草のワルナスビで発生が確認されている。



写真1 タバコノミハムシ成虫



写真2 ナスの葉における食害痕

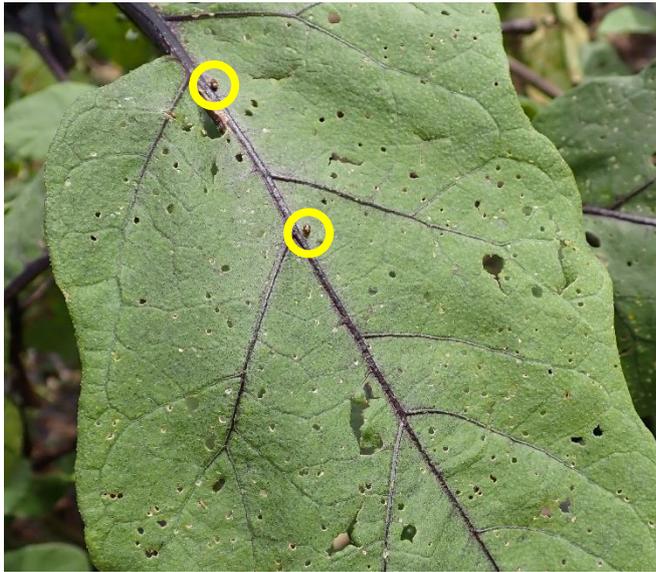


写真3 ナス被害葉とタバコノミハムシ成虫



写真4 ナスの葉における食害痕（裏側）

## 5 防除対策

(1) 令和4年9月現在、ナスにおいての本虫に対する登録農薬はない。

なお、本虫は主に減農薬、農薬不使用栽培のほ場で発生が確認されており、通常の薬剤防除を実施しているほ場での被害はほとんど確認されていない。

(2) 近隣のナス科植物への移動を防ぐため、本種に加害された作物は、栽培終了後速やかに残さを処分する。